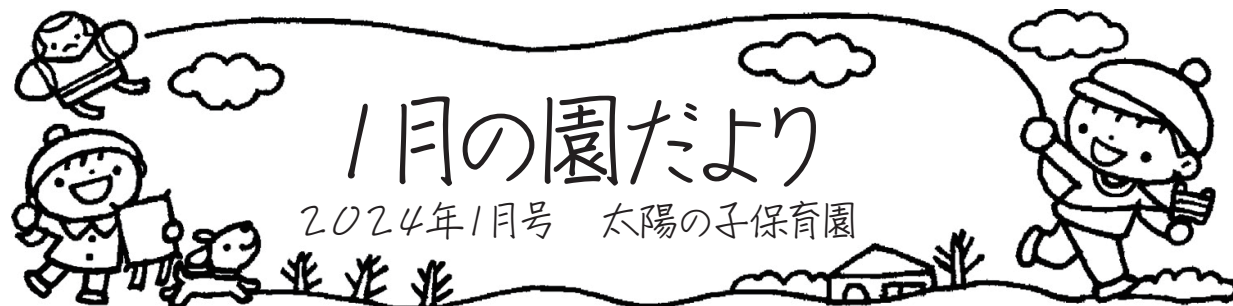




年末年始何かとお忙しい中、ご家族の皆様はお元気に過ごされましたでしょうか。子どもたちにとっては、さまざまな体験ができ、楽しいお正月休みだったと思います。

いよいよ今年度もあと3ヵ月となりました。この時期は各クラスとも総まとめの大切な時期です。子どもたちがここまで経験したことを生かし、主体性や社会性を身につけていけるよう保育を行っていきます。また、子どもたちの思いをしっかり受け止め、充実した時間を過ごしていければと考えています。

新しい年を、子どもたちに負けずに成長していけるよう、私たち職員も力いっぱいがんばりたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。



2024/1/27

SUN太お楽しみ会

毎年恒例の「SUN 太おたのしみ会」を、今年もたくさんの方がお越しいただけるようにと「大ホール」にて実施します。大きな会場ですので、おじいちゃん・おばあちゃんもぜひお誘いいただき、みんなで楽しんでいただければと思います（入場制限はありません）。職員一同、楽しい一日となるよう精一杯準備に取り組んでいきます。

集合時間（乳児の部） 9:10 （幼児の部） 10:20

お願い

ゆとりぎ第2・第4駐車場が利用できなくなるため、駐車場の混雑が予想されます。お車でのご来場はできる限りお控えいただき、徒歩や公共交通機関でのご来場をお願いします。



- 9～12 身体測定
- 10(水) 体育指導(幼児)
- 11(木) 音楽指導(幼児)
- 12(金) お誕生日会
- 15(月) 避難訓練
- 17(水) SUN太リハーサル(乳児)
- 19(金) SUN太リハーサル(幼児)
- 27(土) SUN太お楽しみ会
- 30(火) 調理保育(ぱんだ)
- 31(水) たまっ子座公演(幼児)

2月の予定

- 2(金) 節分の日会
- 5～9 身体測定
- 8(木) 音楽指導(幼児)
- 9(金) 職員会議
- 9(金) お誕生日会
- 14(水) 調理保育(くま)
- 16(金) お別れ遠足(らいおん)
- 19(月) 体育指導(幼児)
- 19(月) 職員園内研修
- 20(火) 調理保育(らいおん)
- 20(火) ひな人形飾り
- 21(水) 新クラス説明会(0)
- 22(木) お別れ遠足(雨天)
- 24(土) 新入園児面談
- 26(月) 新クラス説明会(1)
- 27(火) 新クラス説明会(2)
- 28(水) 新クラス説明会(3)
- 29(木) 新クラス説明会(4)
- 3/1(金) 新クラス説明会(4)

子どもは親や友だちを見て学ぶ

よいことと悪いことを子どもに教える場合、親などがモデルとなって「お手本」を見せる「モデリング」という方法も効果的です

「よくわかる発達心理学」
渡辺弥生著（ナツメ社）より

子どもは周りの人を観察して様々なことを学ぶ

人が何かを学習するとき、その多くは「経験」に基づいています。たとえば、犬に吠えられで怖い思いをしたら、「犬は怖い」と学習して近づかないようになりますし、逆に犬とふれあって楽しい思いをしたら、「犬と遊ぶのは楽しい」と学習し、次も積極的に近づこうとします。

この「経験」による学習は、自分自身が直接経験したことだけでなく、他者の行動を見ることで成立します。

こうした学習の仕方を、「モデリング」あるいは「観察学習」とよびます。

親自身が意識して望ましい行動をする

子どもはよく親のことを見ています。そして、おままとなどで、普段親が言っていることを再現したりするように、よく親のまねをしています。親は子どもにとって、とても影響力のあるモデルなのです。子どもはただ単に行動や言葉をまねしているのではなく、親の表情や行動を見て社会のルールや善悪を学んだり、危険かどうかを判断したりしています。

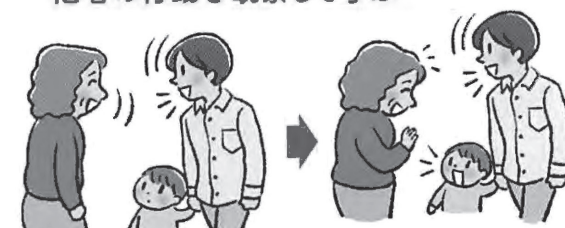
ですから、それを意識して親は行動する必要があるでしょう。たとえば、「怒っちゃダメ!」と怒鳴っている親の姿から「怒ってはいけない」ということは学べないでしょうし、親の言葉づかいが悪ければ子どもはそれをまねするのです。

きょうだいや友達、キャラクターもお手本になる

親などの身近な大人はもちろん、きょうだいや友達も影響力のあるモデルになります。また、絵本やアニメのキャラクターなどをモデルにする方法もあります。キャラクターのしたことを「あれはすばらしいことだね」「こ

れはやってはいけないことだね」などとコメントつけて教えてあげることも有効な手段のひとつです。

他者の行動を観察して学ぶ



観察学習の効果を実証した「ポポ人形実験」

観察学習(モデリング)を提唱したバンデューラ(Bandura)は、風船のように膨らませた「ポポ人形」を使い、子どもを対象に、観察学習による攻撃行動が成立するかどうかを調べました。

実験は、右図のように、大人がポポ人形に攻撃する場面を見る「実験群」と、大人がポポ人形と穏やかに遊ぶ場面を見る「対象群」とに分け、その後、子どもたちがポポ人形のある部屋でどのように振る舞うかを調べました。その結果、攻撃する映像を見た実験群の子どもたちは、対象群よりも、目に見えて攻撃的に振る舞いました。これは、子どもたちが観察学習をした結果だと考えられます。

